

質問者 阿部 美紀子

質問事項	質問の要旨
1 子どもたちの未来に原発はいらない	<p>7月3日、4日と福島県浪江町を視察。浪江町議会、大熊町議会の議員の方々と意見交換をしてきました。</p> <p>福島の現状を見るにつけ、原発事故のもたらした被害の大きさを感しました。</p> <p>女川では、8月10日、「女川から未来を考えるつどい」と題し、加藤登紀子さん、小出裕章さんのライブ&トークが開催され、その中で発言した若い保育士さんは、「子供たちに安全な環境をつくるのが大人のつとめ」と述べています。</p> <p>子どもたちの未来を守り、住民の安全を保障するためにも、原発は止めるべきです。</p> <p>町長の見解を伺います。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>
2 URとの連携を問う	<p>造成が進み、最初の土地引き渡しが行われ、離半島にも戸建ての災害公営住宅ができました。</p> <p>しかし、苦情が多いので、次の点について伺います。</p> <p>(1) パートナーとしての連携、チェック体制について伺います。</p>

質問者 阿部 美紀子

質問事項	質問の要旨
	<p>(2) 女川の地域とURの間に認識のズレがあるのではないかと思われます。例えば、土間、外の流し等。</p> <p>そのズレを少しでも埋めるよう、町が機能し、住民の意見を反映させた改善策をとるべきではないでしょうか。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>